

# 第28回非開削技術研究発表会 開催のご案内

開催日：平成29年10月18日(水)

受付8:45 開始9:00

場所：発明会館ホール（東京都港区虎ノ門）

主催：(一社)日本非開削技術協会

参加費：会 員3,000円

官庁・学校関係 無料

非会員6,000円（いずれも論文集含む）

申込期限：平成29年10月10日(火)

参加お申し込み：JSTT ホームページをご覧ください。

<http://www.jstt.jp/>

## 2017年(第28回)非開削技術研究発表会 プログラム

テーマ	NO.	発表論文	発表者
第1セッション 非開削 推進事例 (曲線施工、障害物)	座長	日本水工設計株式会社管路施設部長 石堂 暁	
	1.1	バーチカル施工に対応した超流バランスセミシールド工法の優位性	池田 裕治 (株)アルファビルエンジニアリング
	1.2	超大口径管推進工法の用途と施工事例	橋本 健二 (株)イセキ開発工機
	1.3	岩盤・巨礫対策用掘進機の進展と現状	脇田 智晴 (株)イセキ開発工機
	1.4	複合障害物切削推進の施工事例 (SH工法)	平山 善健 大林道路(株)
	1.5	推進工法の海外展開	刈谷 光男 機動建設工業(株)
第2セッション 非開削 推進事例 (既設構造物への直接到達)	座長	(公財)水道技術研究センター常務理事 佐々木 史朗	
	2.1	超流バランスセミシールド工法における既設構造物接合技術	森田 智 (株)アルファビルエンジニアリング
	2.2	あらゆる条件を克服し既設構造物へ到達させる「ヒューム管推進工法」	三浦 徹秀 (株)協和エクシオ
	2.3	既設管渠への直接切削到達に関する実証実験	十河 尚美 ヤスダエンジニアリング(株)
第3セッション 非開削推進 (計測・補助工法・シミュレーション)	座長	(一社)全国上下水道コンサルタント協会専務理事 尾崎 正明	
	3.1	小口径推進における次世代の位置検知技術について	春木 誠也 アイレック技建(株)
	3.2	インドネシアにおける推進立坑土留め壁構築時の薬液注入工法の適用性に関する基礎的検討	浅野 哲 九州大学/東曹産業(株)/日特建設(株)
	3.2	低土被り地山の断面矩形推進工法における上半断面掘削の適用に関する数値解析的検討	田中 雅弘 九州大学/株)アルファビルエンジニアリング
第4セッション 非開削 改築・耐震化・強靱化・管路更生	座長	アイレック技建(株)非開削推進事業本部長 宮武 昌志	
	4.1	STREAM工法 (非開削入替工法) 適用範囲拡大の取組み	長谷 康平 東邦ガス(株)
	4.2	既設マンホールを耐震化する2工法	岩崎 尚平 日本ヒューム(株)
	4.3	下水道管路施設の老朽化対策	藤本 佳嗣 (株)三水コンサルタント
	4.4	部分改築工法 ～管きよ長寿命を目的とした工法～	柴 博志 東亜グラウト工業(株)
	4.5	中小口径管路からの下水熱利用技術	田熊 章 東亜グラウト工業(株)
第5セッション 非開削 探査・調査・診断	座長	(株)建設技術研究所東京本社下水道部次長 木下 勝也	
	5.1	AI技術を活用したGPRデータによる空洞判定の試み	鈴木 敬一 川崎地質(株)
	5.2	道路陥没を考慮した下水道管更生の優先順位に関する考察	清水 康生 (株)日水コン
	5.3	電気伝導を応用した新しい管路水密性調査技術「エレクトロスキャン」	田中 宏治 管清工業(株)
	5.4	血管内超音波検査技術の非開削技術への転用の可能性について	松本 裕正 (株)メディス
特別講演 「北米における管路更生工法の 経年劣化総合試験結果」 【日本語の逐次通訳あり】	講演者	Louisiana工科大学名誉教授 前非開削技術センター所長 Raymond Sterling	

発表者名および発表論文タイトルは予告なく変更する場合があります。

# 第2回非開削技術講習会 開催のご案内

開催日：平成29年10月20日(金)

受付12:50 開始13:10

場所：CIVI北梅田研修センター 507  
(大阪市北区芝田2-7-18)

主催：(一社)日本非開削技術協会

共催：(一社)日本下水道管路管理業協会  
(一社)日本管路更生工法品質確保協会

申込期限：平成29年10月13日(金)

参加費：・役所/官庁、学生：無料

・(一社)日本非開削技術協会会員、  
(公社)日本下水道管路管理業協会会員、  
(一社)日本管路更生工法品質確保協会会員：無料  
・それ以外：3,000円

継続教育：土木学会 (CPD)：3.3単位、(一社)全国土木施工  
管理技士会連合会 (CPDS)：4ユニット

申込方法：HP (<http://www.jstt.jp>) よりオンラインで申  
込み (オンラインのみのお申込です)

## 2017年(第2回)非開削技術講習会 プログラム

項目	演題と内容	講演者等
講演	1.「非開削地下探査技術適用の手引き(案)」 地下埋設物や路面下の空洞探査における地中レーダー法や電磁誘導法を理解し、適切な使用方法を選択するとともに、安全かつ精度を高め、計画的、効率的、経済的な地下埋設物探査の実施について解説	JSTT地下探査技術委員会 委員 綱崎勝
講演	2.「地下管渠工事の社会的費用一算定の手引き(案)」 地下管渠工事における直接的な工事費用(私的費用)の他に、工事に起因する周辺の車両交通や住民環境などに与える影響を外部費用として算定する手法の解説	JSTTソーシャルコスト検討委員会 委員長 宮武昌志
講演	3.「管路更生工法」 管路の老朽化に伴う管路更生工法の歩み及び規格の変遷について解説	(一社)日本管路更生工法品質確保協会 理事 佐藤敬明
特別講演	4.「北米における管路更生工法の経年劣化総合試験結果」 米環境保護庁が出資した、CIPP(現場硬化管)及びその他の管更生工法が施工後5年~34年でどのように劣化したかを調査したプロジェクト。現場からサンプルを切り取り、研究所で様々な試験を行った結果を報告する。	ルイジアナ工科大学 名誉教授 Raymond Sterling 氏

お問い合わせ先

JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会

【事務局】 小谷, 近藤 (Tel : 03-5639-9970 E-mail : office@jstt.jp)